

流域治水シンポジウムの開催について (開催報告)

北海道地方における流域治水シンポジウム

～北海道内で初めて流域治水に関するシンポジウムを開催～

気候変動による水災害リスクの増大を踏まえた流域治水の考え方や取組内容について広く理解を深めるとともに、流域治水の関係機関それぞれから、流域治水への思いや個別施策の先進事例を紹介していただき、今後の各種対策の推進に向けた連携強化を図るため、シンポジウムを開催しました。

当日は、関係機関や有識者として29名が出席し、流域治水に取り組む市町村等の関係機関や民間企業など約400名*の傍聴がありました。*Web傍聴の延べアクセス数

【開催概要】

○日 時：令和3年7月2日（金） 13:00～16:00

○開催場所：札幌開発建設部分庁舎（webexによるweb会議を併用）

○プログラム

- 第Ⅰ部 「講演」気候変動に伴う大雨に起因する流域スケールの水害リスクについて
北海道大学 山田朋人准教授
- 第Ⅱ部 関係機関による事例紹介、意見交換
コーディネーター：室蘭工業大学 中津川誠教授

【出席機関】

北海道開発局（建設部河川計画課・河川管理課、農業水産部農業設計課、事業振興部都市住宅課、各開発建設部）

北海道森林管理局（治山課、森林整備第一課）

北海道（建設部河川砂防課、農政部農村設計課、水産林務部治山課・森林整備課）

森林整備センター東北北海道整備局北海道水源林整備事務所

札幌市、滝川市、北見市、岩見沢市、岩見沢市広域協定（岩見沢南地域資源保全協力会）

北海道建設業協会、建設コンサルタンツ協会北海道支部

※資料や動画の公表先（HP）はこちらです。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kei/slo5pa000000a404.html

【主な意見交換内容】

○流域治水は、流域の関係者や住民の理解と協力が不可欠。リスクを定量化して示すなどにより、理解を深めてもらう取り組みが重要。

○流域治水をコアにして、新技術やグリーンインフラ等、地域活性化を考えていけるといい。

第Ⅰ部 北海道大学 山田朋人准教授の講演



第Ⅱ部 関係機関による事例紹介・意見交換

